



宮古島市民として特別住民登録された宮古島まもる君(右)とまもる子ちゃん(左端) 27日午後、宮古島市役所平良庁舎

交通安全決意新た

【宮古島】宮古島市や多良間村で、風雨に耐えながら日夜「立ち番」を続ける警察官型人形宮古島まもる君と妹のまもる子ちゃんが27日、宮古島市の市民として特別住民登録された。

交付式は同市役所平良庁舎で行われた。まもる君に扮した「リアルまもる君」こと宮古島署交通課の池間一史警部補と宮古島地区交通安全協会の宮里敏男会長が同市市民生活課の窓口で申請書を提出し、下地敏彦市長が受理、特別住民票を交付した。

下地市長は「2人とも交通安全や飲酒運転の撲滅に

まもる君とまもる子ちゃん 宮古島市が住民登録

大活躍してきた。観光客にも交通安全をアピールしてくれている。これからも頑張つてほしいと期待した。池間警部補は「昨年は飲酒運転の摘発が増えて悲しい思いをした。昨年の悲しさと、住民登録してもらえたうれしさをばねに、一件でも飲酒運転が減るように頑張りたいと抱負を述べた。

まもる君は1991年8月5日生まれ、20歳で、現在は宮古島市、多良間村の19カ所で立ち番をしている。妹のまもる子ちゃんは1993年3月3日生まれの18歳で、昨年8月にお披露目された。住所は2人とともに宮古島署で登録された。